

# 2010 年度FVI会計報告

(2010 年 9 月 1 日～2011 年 8 月 31 日)

収入			支出	
創立パートナーシップ献金	260,000		国内活動事業費	1,624,107
からし種エイジェント会費	144,000			
賛助維持会費	552,000		管理費	787,407
一般献金	3,748,436			
正会員会費	176,000			
国外指定献金(*1)	929,129	▶	国際交流支援事業費	2,684,887
カタリスト指定献金(*2)	9,521,253	▶	カタリスト人件費	6,740,000
東日本大震災指定献金(*3)	19,445,344	▶	東日本大震災事業費	5,172,016
利息	1,313			
小計	34,777,475		小計	17,008,417
繰越金	0		繰越金(*4)	17,769,058
合計	34,777,475		合計	34,777,475

(\*1)すべて国際交流支援事業費の「海外協力金」として使用しました。

単位:円

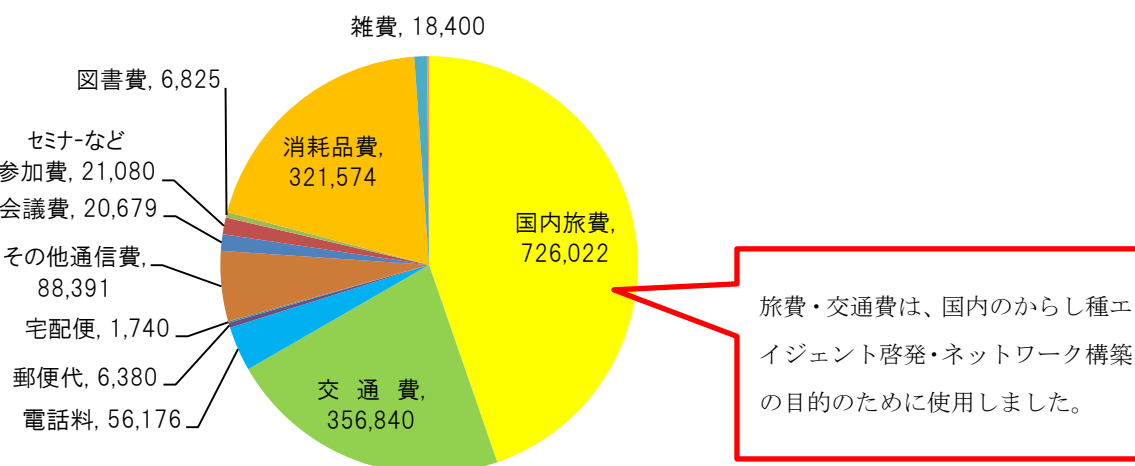
(\*2)カタリスト3名の人件費は、カタリスト指定献金から拠出しました。

(\*3)国内から:2,078,777円、海外から:17,366,567円の東日本大震災支援指定献金収入がありました。

(\*4)各指定献金の繰越金は、それぞれの指定の目的のために次年度に繰り越されます。

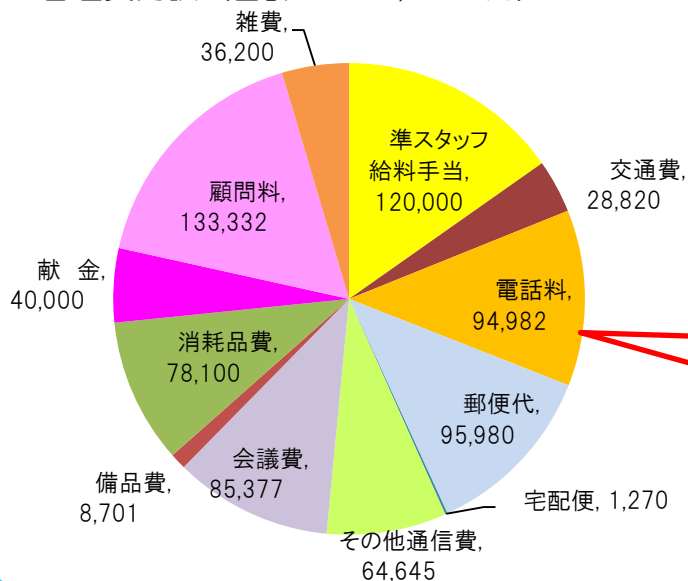
監査の結果、第一期の決算書は、「声をき者の友」の輪の2011年8月31日現在の財産状態及び同日をもって終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めました。当団体の業務ならびに財産に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。2011年10月15日 監事 棚橋信之

## 国内活動事業費内訳 (合計: 1,624,107円)



②

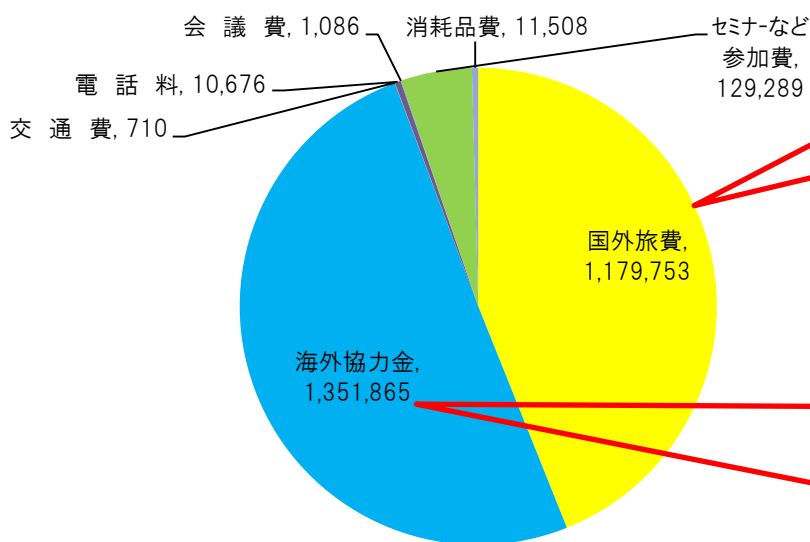
管理費内訳（合計：787,407円）



●2011年2月から、事務局（事務担当、広報担当）2名の準スタッフを採用しました。  
●顧問料は、税理士の顧問料です。

③

国際交流支援事業費内訳（合計：2,684,887円）



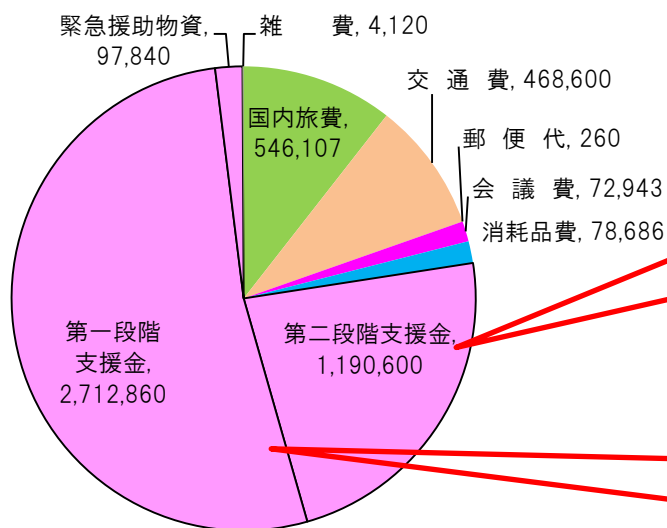
●国外旅費は、海外の活動家との相互依存型パートナーシップ構築のために使用しました。

●海外協力金内訳：

ガーナ：	369,065円
インドオリッサ州：	400,550円
インドダリット尊厳：	332,250円
インドUP州：	250,000円
合計：	1,351,865円

④

東日本大震災事業費内訳（合計：5,172,016円）



「第二段階支援献金」は、被災者の方々のために開催した福島未来会議、および放射能セミナーに使用しました。

「第一段階支援金」は、福島県内の人々のために復興支援を行っている諸団体の活動に拠出しました。